

⑥4重点道の駅「道の駅ふくしま」整備事業

受賞機関 福島市

キーワード 重点『道の駅』、地域振興拠点、広域防災拠点、県産材、地域密着型の地域振興

全建賞審査委員会の評価ポイント

道の駅の整備事業。県産材を使用した魅力的な空間を提供するとともに、防災拠点としての機能も合わせ持った復興のシンボルにふさわしい整備を実現した点や、生産者協議会の設立や、ツアー、シンポジウムの開催により地域の活性化に寄与することで新しい「地域振興拠点」の整備を実現した点が評価された。

1. はじめに

福島市は、福島県中通り地方の北部に位置し、西は吾妻連峰、東は阿武隈高地に囲まれた、都市と自然が調和した県都である。

「道の駅ふくしま」は、東北中央自動車道福島大笹生ICの隣接地に位置し、県内3ヶ所目となる「重点『道の駅』」として国土交通省に選定されている。主要地方道上名倉飯坂伊達線を管理する福島県との一体型整備手法により整備し、市内2駅目の道の駅として、令和4年4月27日に開業した。

- ・敷地面積：27,562㎡
- ・延床面積：2,982㎡
- ・建物構造：道の駅本体・屋内こども遊び場【木造】
防災倉庫・倉庫【鉄筋造】



施設全景

2. 事業の概要

本施設は、東日本大震災からの復興のシンボルとなる新しい「地域振興拠点」として、平成27年より整備に着手した。道の駅の基本機能に加え、高速交通網の結節点という立地を生かし、防災倉庫や耐震性貯水槽、太陽光発電を配備した「広域防災拠点」としての機能を兼ね備えている。

建物は、大径材化し伐採期を迎えた県産材をふんだんに使用した木造平屋建築であり、高さ11mの天井による広い空間を確保することで、施設内への採光と開放感

を演出した。また、「屋内こども遊び場」には、果物狩りをモチーフにした様々な木材遊具があり、木のぬくもりと地域の特色を生かした学びの場を提供している。

ソフト面では、周辺の観光施設・飲食店等の情報や割引クーポンを掲載する独自の周遊アプリ開発、約300名が加入する生産者協議会との意見交換による販路拡大や地産地消の推進、地域資源を活用したツアー・シンポジウム等の開催など、地域密着型の地域振興に取り組んでいる。



県産木材を使用した建物（直売所）

3. 事業の成果

開業初年度の4月から3月までに、来館者数約168万人、売上額約12億円を達成し、目標値を大きく上回る成果を得た。

また、施設の立地条件を生かし、観光農園等をコースに取り入れた果物狩りツアーや、近隣市町村の道の駅等と連携したデジタルスタンプラリーの実施、レンタサイクルの貸出及び周遊アプリでのサイクリングルート掲載など、道の駅を起点とした周辺地域への周遊を促進した。

4. おわりに

「道の駅ふくしま」は、地域振興の新たな拠点となることを目指している。道の駅への集客増加のみならず、「ふくしま」らしい魅力を発信することで交流人口の拡大を図り、地域をつなぐゲートウェイとしての役割を強化していきたい。